

2010年7月 活動

2010年7月19日

「竹は地球を救う」

宮代「竹のアート展」が9月18日もしくは25日の土曜日に開催されます。竹の切り出しから経験できます。奮ってご参加ください。詳細は篠田事務局長まで。

これに先立ち REPA 第 20 回情報交換会(9月8日(水)18:30~20:30 場所:四谷・ファミール)で、光と風の研究所の代表取締役である堀内氏(REPA理事)が「竹は地球を救う」と題してミニ講演を行います。各地域で廃棄処分等の対策で頭を悩ませている竹ですが、竹には炭や肥料としての有用性だけでなく、様々な利活用の方法があります。また、竹という素材を生かしたアートにもなります。この竹の隠れた有用性に注目して、熱海近郊のある町で町おこしを提案している堀内氏に、そのアイデアを披露していただきます。

関連情報として、第 12 回竹のアート今年度の第1回会議が下記のように開催されます。平日の夜ですがご都合がございましたらご参加ください。但し、事務手続きがありますので詳細は佐藤会長、篠田事務局長までご連絡ください。

第 12 回竹のアート(今年も始まります) 第1回実行委員会のご案内

日時 : 平成22年7月27日(火) 午後7:00~8:00

場所 : 宮代町コミュニティセンター「進修館」 集会室にて

内容 : 昨年度の作品集について、今年の開催計画について

(竹切り出し9月中旬、作品制作10月初旬から下旬を予定)、参加者の募集について

REPA 第19回情報交換会開催 REPA 第19回情報交換会が7月14日(水) 午後6時30分から四ツ谷レストランファミールで今泉、篠田、尾園、堀内、木村、奥村の各氏が参加しておこないました。国内再生可能エネルギー視察会の結果報告、エコプロダクツ2010展(12月9~11日、東京ビックサイト)への応募テーマ検討、宮代「竹のアート展」への参加、宮代町自立型次世代町づくり構想等が紹介議論されました。詳細は別途議事録をご参照ください。

REPA 第9回運営委員会(8月11日)

掲題の会を8月11日(水)午後6時30分~ REPA事務所(239号室)で開催します。委員の方は土出席願います。

平成22年度年会費の納入のお願い

総会の結果と合わせて、会員の皆様へは平成22年度の年会費の7月末までの振込みをメールでお願いしております。振込みでお願いしている理由は、事業報告書の監査に当たり、預金通帳による確認が容易なためです。ご理解とご協力をお願い致します。

2010年7月11日

NPO 法人再生可能エネルギー推進協会の定例情報交換会

REPA 第19回情報交換会は平成22年7月14日(水) 午後6時30分～ 四ツ谷レストランファミールで開催されます。奮ってご参加ください。

2010年7月4日

REPA国内再生可能エネルギー視察会(7月2、3日)

再生可能エネルギーに積極的に取り組んでいる岩手県葛巻町の視察会、および岩手県環境生活部・岩手大学の高木先生との意見交換会が、総勢9名の参加を得ておこなわれました。第一日目は葛巻町農林環境エネルギー課の日向氏による町の紹介、新エネビジョンから始まる風力発電、家畜糞尿利用、木質バイオマスガス化発電・ペレット利用、ゼロエネルギー住宅(含む地熱利用)の説明と現場視察、またNPO岩手子ども環境研究所「森と風のがっこう」の活動状況・施設見学がおこなわれました。第二日目は場所を盛岡市のアイーナに移し、当協会の活動内容ならびに三井物産環境基金助成の「ポイントCO2 地域ネットワーク事業」を紹介し、岩手県環境生活部佐々木健司氏からは、岩手県全体のエネルギー(風力、雪氷熱、畜産バイオマス、水力、地熱、太陽光)の自然と共生した取組み、環境学習広報車「エコカーゴ」等の環境教育活動の紹介、また岩手大学の高木先生からは、エネルギー環境学習普及活動の紹介があり、その後意見交換が行われました。宮代のポイントCO2活動については是非情報交換をさせて戴きたいとの申し入れがありました。

約2日間ではありましたが非常に中身の濃い視察会でありました。実際の設備を目の当たりにし、また最前線で活動されている行政の方々の大変な苦勞、地元NPOの熱意あふれた活動など肌で感じ取ることができ、参加者一同感じるどころが多々あったと思います。この経験を当協会の今後の活動に活かして行きたいと思います。なお詳細は次回7月末発行予定のREPA通信をご参照ください。



葛巻町風力発電 1750kW×12基の前で



盛岡環境学習交流センターの前で